



連合
鳥取

中部地協ニュース

No. 2 2016. 3. 11

発行責任者 鈴木和夫

編集責任者 山田秀之

日本労働組合総連合会 鳥取県連合会 中部地域協議会
〒682-0804 倉吉市東昭和町 286-2 TEL23-7205 FAX23-7206

2016春闘勝利をめざす!

前日の雪から一転して、天候に恵まれた3月2日(水)夕方、倉吉体育文化会館駐車場におきまして「中部地協2016春季生活闘争勝利総決起集会」を開催し、約600人の組合員が結集し氣勢をあげました。

まず最初、主催者を代表して中部地協鈴木和夫議長が「月例賃金にこだわった賃上げと、参議院議員選挙では連合組織内候補全員と鳥取・島根合区選挙区における福島浩彦さんの勝利に向けて頑張りましょう」と挨拶を行いました。続いて、連合鳥取からは本川博孝会長が「要求しない賃上げはない。全ての単組が要求し賃上げを勝ち取る闘いを進めて欲しい。7月の参議院議員選挙において1強政治を打破しなければ生活が壊される」と激励の挨拶がありました。

ご来賓の挨拶では、民主党鳥取県総支部連合会の伊藤保代表と参議院選挙鳥取・島根合区選挙区で連合鳥取が推薦決定した福島浩彦さんの二人に連帯のご挨拶を頂きました。また、祝電・メッセージでは民主党鳥取県支部連合会副代表の湯原俊二さんからの連帯メッセージを披露しました。

単組決意表明は、JAM・神鋼機器工業労組の福本和幸さんと運輸労連・全日通の眞壁正樹さんの二人が参加者を代表して、力強く今春闘に向けての決意を述べ、集会アピールの提案では全国農団労・鳥取中央農協労組の水野一史さんが提案し、参加者全体の拍手で採択されました。

集会最後、鈴木和夫議長による「団結ガンバロウ」を三唱し集会を閉会した後、会場から倉吉駅までをデモ行進しながら「賃金の引き上げ、労働法制を改善するな、格差是正、危ない年金運用の中止、ワークライフバランスの実現」をシュプレヒコールをして地域のみなさんへアピールを行いました。

集会にご出席いただきました来賓の皆さまです

- 民主党鳥取県総支部連合会代表 伊藤 保 様
- 参議院選挙鳥取根合区選挙区予定候補者 福島 浩彦様
- 倉吉市議会議員 倉吉市議会議員 湯梨浜町議会議員
- 福井 康夫様
- 中野 隆 様
- 酒井 幸雄様



福島浩彦さん



本川会長



連合鳥取春闘方針を確認!

2月17日(水)、倉吉体育文化会館において「中部地協2016単組代表者会議」を開催しました。主催者を代表して中部地協の鈴木和夫議長は「昨年春闘は、異例の要請を受けて一定の賃上げが実現できた。しかし、一部の大企業に偏り地方では余り実感が湧かない。最低賃金も10年前に比べ格差が広がっている。私たちは、横の連携を重視して賃上げに頑張りたい」「夏の参議院選挙に勝利して1強多弱を打破したい」と挨拶をしました。

連合鳥取から、田中穂事務局長が激励と連合鳥取春闘方針の説明に駆けつけ、重点課題の5項目と昨年度の賃金実態調査にもとづく賃金引上げ要求目安となる8,200円(賃金カーブ維持相当分3,700円とベア分4,500円)の根拠を説明しました。

中部地協は、①地協の活動強化 ②第87回メーデー大会 ③参議院選挙の取り組みについて提起し確認されました。

連合鳥取推薦議員も日頃の活動報告のため、伊藤県議・興治県議・福井倉吉市議・中野倉吉市議・酒井湯梨浜町議が出席し、それぞれの立場での活動について報告を受けました。

地域に根ざした運動の強化へ心合わせに参加!

2月1日と2日の両日、静岡県熱海市で301人が参加して開催された連合主催の「全国地方連合会・地域協議会事務局長討論会」に、連合鳥取田中穂事務局長と3地協の事務局長が出席し、全国の先進的な取り組み事例を学びました。「こうして全国から集まったことは、初めての試み」と神津里季生会長の評価した挨拶がありました。

講演では、「地域の変容と連合地域運動 その3つの意義」と題し、中央大学宮本太郎教授は「年金依存同居」の共倒れなど老後破産や子どもの貧困が深刻になってきていることを指摘。その解決策として「お互い様の地域づくり」を提唱し、「連合地域運動の出番」と期待を表明しました。

討論会には、民主党の枝野幸男幹事長も駆けつけ、7月の参議院選挙の必勝に向け「安倍総理の暴走をストップさせるための政治決戦だ」と訴えました。



全国からの参加者。写真円内は、神津会長

